

平成15年3月7日
気象庁地震火山部

配信資料に関する技術情報(地震火山編)第125号

～新しく選定された活火山の火山名コード～

平成15年1月21日に火山噴火予知連絡会は、「概ね過去1万年以内に噴火した火山、及び現在活発な噴気活動のある火山」を新たな活火山の定義として(従来は過去「2千年」)、新たに22火山を追加し、これにより全国の活火山総数は従来の86から108を選定しました。

気象庁は、新しく選定された活火山について、火山情報の電文「ｶﾞﾝｼﾞ ｺﾞｸ1」に用いる火山名コード(別紙)を定めましたので、お知らせいたします。

なお、火山名コード(別紙)を適用するにあたっては、アデスオンラインユーザーへの周知期間等を考慮し、平成15年10月1日(水)正午より適用開始します。それまでの間は、新しい活火山について火山情報を発表する場合、電文「ｶﾞﾝｼﾞ ｺﾞｸ1」は、火山名コード「900」を使用しますので、火山名については、本文を参照して下さい。

また、電文フォーマット等には変更や追加はありませんが、10月1日から適用する火山コード表とあわせ、(別添)のとおり一式添付します。

本件に関する問い合わせ先： 気象庁地震火山部火山課

火山調査係長 菅野 03-3212-8341 内線4526

火山名コード

別紙

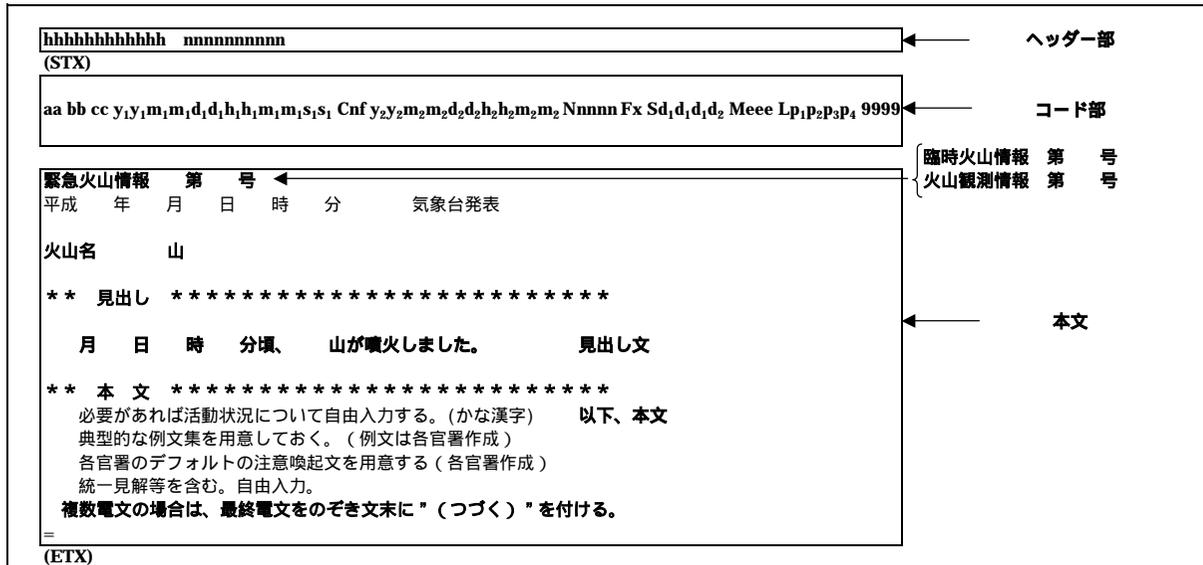
札幌管区気象台管内		仙台管区気象台管内		東京管区気象台管内	
火山名	コード	火山名	コード	火山名	コード
知床硫黄山	101	恐山	201	那須岳	301
羅臼岳	102	岩木山	202	日光白根山	302
摩周	103	八甲田山	203	赤城山	303
アトサヌプリ	104	十和田	204	榛名山	304
雌阿寒岳	105	秋田焼山	205	草津白根山	305
丸山	106	八幡平	206	浅間山	306
大雪山	107	岩手山	207	新潟焼山	307
十勝岳	108	秋田駒ヶ岳	208	妙高山	308
樽前山	109	鳥海山	209	弥陀ヶ原	309
患庭岳	110	栗駒山	210	焼岳	310
倶多楽	111	鳴子	211	乗鞍岳	311
有珠山	112	蔵王山	212	御嶽山	312
北海道駒ヶ岳	113	吾妻山	213	白山	313
恵山	114	安達太良山	214	富士山	314
渡島大島	115	磐梯山	215	箱根山	315
利尻山	116	燧ヶ岳	216	伊豆東部火山群	316
羊蹄山	117	肘折	217	伊豆大島	317
ニセコ	118	沼沢	218	新島	318
				神津島	319
茂世路岳	151			三宅島	320
散布山	152			八丈島	321
指白岳	153			青ヶ島	322
小田萌山	154			ベコネース列岩	323
択捉焼山	155			須美寿島	324
択捉阿登佐岳	156			伊豆島島	325
ベルタルベ山	157			西之島	326
爺爺岳	158			海徳海山	327
羅臼山	159			噴火浅根	328
泊山	160			硫黄島	329
ルルイ岳	161			北福徳堆	330
				福徳岡ノ場	331
				南硫黄島南東沖海底火山	332
				高原山	333
				横岳	334
				アカンダナ山	335
				利島	336
				御蔵島	337
				孀婦岩	338
				海形海山	339
				南日吉海山	340
				日光海山	341
大阪管区気象台管内		福岡管区気象台管内		沖縄気象台管内	
火山名	コード	火山名	コード	火山名	コード
三瓶山	401	鶴見岳	501	硫黄島島	601
		九重山	502	西表島北北東海底火山	602
		阿蘇山	503		
		雲仙岳	504		
		霧島山	505		
		桜島	506		
		開聞岳	507		
		薩摩硫黄島	508		
		口永良部島	509		
		中之島	510		
		諏訪之瀬島	511		
		阿武火山群	512		
		鶴見岳・伽藍岳	513		
		由布岳	514		
		福江火山群	515		
		米丸・住吉池	516		
		若尊	517		
		池田・山川	518		
		口之島	519		
その他					
				火山名	コード
				火山名は本文参照とする場合	900

注) コード=900は、火山名は本文を参照することを指示するコードとする。
従って、この場合、利用者は必ず本文を参照することを前提とする。

カザンジヨウハウ1電文フォーマット

1. 電文フォーマット

(1) 電文形式と構成



(2) ヘッダー・コード部詳細

- 1) hhhhhhhhhhh : 電文ヘッダ (半角カナ) = カザンジヨウハウ1 (緊急火山情報、臨時火山情報、火山観測情報)
- 2) nnnnnnnnn : 発信官署名 (半角カナ)
- 3) (STX) : 本文開始符号(Start of Text)
- 4) aa : 火山情報種別番号
40= 緊急火山情報, 41= 臨時火山情報
42= 火山観測情報, 43= 定期火山情報
44= 統一見解等
- 5) bb : 電文発信官署コード
01= 札幌, 02= 仙台, 03= 本庁, 04= 大阪, 05= 福岡, 06= 沖縄, 07= 鹿児島
09= 中枢以外の気象官署 (地台など)
本来発信すべき官署が何らかの理由により、電文を発信することが不可能な場合には、他の官署が代行発信する。
代行発信時における電文発信官署コードは b b の 1 0 位を " 1 "。
1 位を電文発信する官署の b b の 1 位とする。
例) 仙台管区気象台が他の官署の代行発信を行う場合の b b は " 1 2 " となる。

地方気象台が他の官署の代行発信を行う場合の b b は " 1 9 " となる。

- 6) cc : 電文種別
00=通常,01=訓練,10=通常を取り消し,11=訓練の取り消し
20=通常形式の電文による配信試験,30=基本コード部のみ形式による配信試験
- 7) y₁y₁m₁m₁d₁d₁h₁h₁m₁s₁s₁ : 電文発信時刻
- 8) Cnf : 電文通数
1 通の電文では電文長が最大3,800バイトまでの制限があるため、複数に分かれる場合の判断に使用する。
c : 電文通数を示す識別符号。
n : この情報で電文がこれを含めあと何通あるかを示す。
f : この電文でコード部が終わりかあるいはさらに続くかを示す。
1=終わり,0=続く
例えば 1 通のみで終わる時にはC11となる。本文で 2 通に分割される時には 1 通目がC21、2 通目がC11となる。
コード部で 2 通に分割される場合は 1 通目がC20、2 通目がC11となる。
(火山情報では、コード部で 2 通に分割されることは無い)
2 電文目以降の電文のコード部は (aa bb nn y₁y₁m₁m₁d₁d₁h₁h₁m₁s₁s₁ Cnf 9999)とする。
- 9) y₂y₂m₂m₂d₂d₂h₂h₂m₂m₂ : 情報発表時刻
- 10) Nnnnn : 情報番号
N : 情報番号を示す識別符号
nnnn : 情報番号 通番 : n=1 ~ 9999; //// = 省略
火山毎の通番として、年単位で更新する。
- 11) Fx : 情報発表タイミング等
F : 情報発表のタイミング及び現地確認の有無等を示す識別符号
x : 情報発表のタイミング等を現す。 /=設定なし
1=噴火前
2=噴火後
3=現地確認・現地報告を受けての発表
9=不明
- 12) Sd₁d₁d₁d₂ : 情報発表官署
S : 情報発表官署を示す識別符号
d₁d₁d₁ : 情報発表官署コード (別表 1)
d₂ : 連名による情報発表の有無 0=連名なし (通常)
1=連名発表 (主たる発表官署はd₁d₁d₁)
- 13) Meee : M : 火山名
eee : 火山名コード (別表 2)
注)コード = 9 0 0 は、火山名は本文を参照することを指示するコードとする。
従って、この場合、利用者は必ず本文を参照することを前提とする。
- 14) Lp₁p₂p₃p₄ : 火山活動度レベル (選択の有無を設定し、デフォルトは無)
L : 火山活動度 (レベル) を示す識別記号
p₁p₂p₃p₄ : ////=デフォルト (全項目省略時)。火山活動度 (レベル化) の運用開始までL////とし使用しない。
- 15) : コード行終了符号
16) = : 本文終了記号
17) (ETX) : 本文終了符号(End of Text)

火山名コード(変更分のみ)別表3

新たに追加する火山		削除する火山	
火山名	コード	火山名	コード
利尻山	116	南硫黄島南東沖海底火山	332
羊蹄山	117	鶴見岳	501
ニセコ	118		
ルルイ岳	161		
肘折	217		
沼沢	218		
高原山	333		
横岳	334		
アカンダナ山	335		
利島	336		
御蔵島	337		
孺婦岩	338		
海形海山	339		
南日吉海山	340		
日光海山	341		
三瓶山	401		
阿武火山群	512		
鶴見岳・伽藍岳	513		
由布岳	514		
福江火山群	515		
米丸・住吉池	516		
若尊	517		
池田・山川	518		
口之島	519		